



# すくすく

No.53

令和2年  
9月

## ～感染症情報～つちだ小児科

**感染性胃腸炎**は夏場になると細菌性腸炎が主役です。先月の胃腸炎は14名（そのうち細菌性腸炎が2名）でした。バーベQを楽しむ人が多いせいでしょうか、サルモネラ、カンピロバクターなどの細菌性胃腸炎が増えてきているようです。原因となる食材は細菌の種類によって異なりますが、牛肉、鶏肉、豚肉の扱いには注意をしましょう。生肉を直接触ったり自分の箸でつまんだりしない、十分に加熱してから食べる、などバーベQや焼肉時には注意を心掛けて下さい。

**アデノウイルス感染症**…先月は1名。アデノウイルス感染症は夏かぜの代表格です。例年ならこれから流行するのですが今年は流行してこないです。

**ヘルパンギーナ**…先月は2名。ヘルパンギーナは夏かぜの代表格です。例年ならこれから流行するのですが今年は流行してこないです。

**手足口病**…先月は1名。手足口病は夏かぜの代表格です。例年ならこれから流行するのですが今年は流行してこないです。

**水痘**…先月は発生なし。

**溶連菌感染症**…先月は発生なし。

**伝染性紅斑**…先月は発生なし。

**RSウイルス感染症**…先月は発生なし。

**ヒトメタニューモウイルス感染症**…先月は発生なし。

**マイコプラズマ感染症**…先月は発生なし。

**百日咳**…先月は発生なし。

**おたふくかぜ**…先月は発生なし。

**麻しん・風しん**…県内でも今年度、風しんの発生が見られており、今後、風しんが流行する可能性があります。妊娠中の方、妊娠適齢期の方、風しんにかかったことのない方、風しんの予防接種を受けていない方(30代から50代の方)は予防接種をお勧めします。

**つちだ先生からの一言**

今年の夏、残暑が厳しいです。今年はマスクしている人が多いと思いますが、お昼時の屋外で密でなければ**マスクを外す勇気も**必要です。感染症対策とともに熱中症予防にも気を配って下さいね。現在、学校や保育園で流行している感染症はほとんどありません。例年ならば流行する夏かぜ(アデノウイルス、手足口病、ヘルパンギーナなど)もほんの少数みられているのみです。

※つちだ小児科「イチチケット」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」を毎週お届けしています。  
感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。

夏と変わらないような暑い日もありますが、日が落ちるのも次第に早くなってきました。まだまだ熱中症対策や日焼け対策など、子どもたちの健康を維持していきたいですね。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、気候に応じた衣服の調節や、冷房の設定温度に留意しながら風邪をひかないように気を付けていきましょう。

### ～すくすくハウスのコマ～

スライム作りをしました。材料を用意すると、「なにをつくるの？」と興味津々。洗濯のりにホウ砂を少しずつ加えながら混ぜていくと、「魔法の料理みたいじゃ～ん」と、「しゃばしゃば」から「どろどろ」に変わっていく感触を不思議がっていました。スライムが完成すると、伸ばしたり型押しをしたりして、形状の変化も楽しんでいましたよ。



### 家の中には危険がたくさん!

危険なものは、屋外だけでなく、普段の生活の中にも潜んでいます。家の中に何げなく置いてあるものでも、子どもにとっては命取りになることもあります。子どもたちの安全を守り、事故を防ぐためにも下記のチェックリストで確認してみましょう。

- 子どもの手の届く場所に危険なものを置かない  
(薬、洗剤、タバコ、ライター、電子ケトル、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かいものなど)
- 踏み台になるものはベランダに置かない
- コンセントに物を入れないようカバーをつける
- 遊び食べて食べ物をのどに詰まらせないよう気をつける
- 浴室には子ども1人で入らない

お助けロボットできたよ!



## 防災週間 (8月30日～9月5日)

9月1日は「防災の日」、9月9日は「救急の日」です。もしもの時に備えて、非常食や水、ラジオ、懐中電灯、乾電池などを用意し、すぐに持ち出せるようまとめておきましょう。今年は、マスクや消毒液も準備しておくといいですね。

また、お子さんにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、日ごろから繰り返し話すことが大切です。災害を想定し、火事の時は服の袖を口にあてて煙を吸わずに逃げたり、地震の時は机の下に隠れたりして、お家の中でも実践しながら避難方法を身につけていきましょう。

